

+幸せを探すあなたへ

神様に会えなければ どのようにになりますか

私の運命なのに、どうしようもないでしょう ある日、突然、襲ってきた悪霊の働きで、家庭が破壊してしまった霊媒師の話です。事業をうまくしていたご主人といっしょに息子、娘が生まれて、高級乗用車にも乗って、格好よく暮らしていたこの女性に、ある日、運命的な呪いの序曲が訪れました。たとえば、通り過ぎる女の人をつかまえて、あなたのご主人はどこにいるのかといきなり尋ねれば、十人中、十人がびっくりするでしょうが、不思議にも、出張を言い訳にして浮気をする男性だけをつかみ出して、行先地まで知らせたというので、一瞬のうちに町中にうわさがぱっと広がるようになりました。それ以後、子どもの悪霊につかれて苦しめられて、子どもの悪霊を追い出そうとしてした儀式が、なにを誤ったのか、將軍の悪霊に、おばけの悪霊まで一度に集まってきてしまい、その人のたましいに席を占めて座ってしまったのでした。とにかく、夜になると、夜ごと墮落した將軍のように女性をつれて、強いお酒を飲みまくるので、ご主人とは自然に離婚して、心の中に入っている子どもの悪霊が、自分たちだけをかわいがってくれと病気で肉体をつつくので、息子、娘とは生き別れて、ちりぢりに散って、今は一人で運命を恨みながら生きていたと言いました。自分が仕える三つの悪霊の報復が怖くて、ついに福音を受けられないまま、最後に投げた告白は、彼女の残った人生を見るようでした。「私の運命なのに、どうしようもないでしょう」本当に、その言葉どおり、人生が運命ならば、私たちには希望が必要ないでしょう。どうしても、運命のとおり生きなければならぬのでしょうか。

神様に会うことができない人の人生履歴書 魚は水の中に生きてこそいのちがあって、鳥は空を飛んでこそ自由になり、木は地に根をおろしてこそ実を結ぶように、私たちの人生もまた神様とともにいる創

造原理によって生きていく時だけ幸せなのが、本来の姿です。靈的な存在である人間が、神様を離れた瞬間、水を離れた魚のように渴いて、鳥籠に閉じ込められた鳥のように人生が苦しくて、根こそぎ

抜かれた木のように、実もなく枯れて行かなければならない、生年月日による運勢、運命の呪いは避けることができません。神様を離れた人間は、やむを得ず六つの人生履歴書を持って生きようになりました。**最初に**、自分も知らない間に、悪魔の子どもになってしまいました(ヨハネの福音書 8:44)。だから、幸せなはずがありません。**二つ目**、人生を生きていくほど不安と恐れが訪ねてきます。それで、偶像崇拜をしたりもして、お祓いをしたり、お守りに頼って、車にステッカーのお守りを貼って通ったりもします。**三つ目**、心のむなしさは、より一層激しくなると、結局、目に見えないように心の病気になる、激しい悪夢でうなされるようになり、不眠症、幻聴、幻想に苦しめられて、極度の不安でうつ病になって、日常生活まで正しくできない人がますます多くなっています。**四つ目**、自然に肉体の健康も、人間関係も崩れるようになって、あらゆる病気に苦しめられるようになります。**五つ目**、結局、人間は死ぬようになって、地獄という永遠な苦しみと刑罰の中に陥るしかありません。**六つ目**、私が持っていた良い点と悪い点など、靈的な問題と偶像崇拜の呪いが、驚くことに子どもにみな伝わって、不幸の相続が続きます。

これが事実ならば、私の人生はどうなるのでしょうか。はたして、この不幸の人生履歴書から抜け出す道はないのでしょうか。人間が何の希望もない時、神様は神様に会う道である真の預言者として、罪の問題を解決された真の祭司として、サタンの権威を打ちこわした真の王として、この世にイエス・キリストを送ってくださいました。そして、イエス・キリストを受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々は、運命から解放されて神の子どもになる特権をくださると約束されました。これが、まさにあなたに向かった神様のうれしい便り、福音なのです。

長老伝道企画時代

重職者が生きてこそ 世界が生きます

ノア、アブラハム、レムナント7人は、いつ答えを受けて勝利したのでしょうか。契約を握って神様の前で重要な時間を持った時からです。それなら、重職者が全てのことを譲歩しても、必ず握らなければならない契約は何でしょうか。

イエスがキリスト(使徒 1:1) 信仰を越えて体験しなければなりません。イエスはキリスト、すべての問題の解決者です。それでも、私たちには問題が連続してせまってきます。この時、イエスがキリストと告白するのが、キリストをキリストになるようにすることです。また、イエスがキリストという事実が、私の主人になる時、必ず奇跡のみわざが起きます。それで、重職者は必ずキリスト・イエスの中にあるみことばが整理されていなければなりません。信仰生活を一番上手にする方法は、まさにみことばが整理されることです。サタンの問題、呪い、運命、地獄の問題を解決できる道はキリストしかないという唯一性の解答を持っているならば、見る人がこれを知るようになって、この祝福が私の人生と事業、職業の中に現れるようになります。またこれが一つの地域を生かす答えにつながります。これを正しく味わって持続するように助けるのが訓練で、伝道システムです。それとともに、明らかな未来を準備していけば良いのです。私の職業、職分、状況によって、みことばが整理されれば、私の未来と一生の方向を見るようになります。

神の国(使徒 1:3) 重職者はどこでも神の国を味わわなければなりません。私の霊的問題、現場の霊的問題、家系の霊的問題から確かに抜け出すように、キリストを味わわなければなりません。

聖霊の働き(使徒 1:8) そして、聖霊の働きを待たなければなりません。イエス様はエルサレムを離れずに父の約束されたことを待ちなさいとおっしゃいました。漠然と待つということではありません。定刻祈りを通して聖霊が私の中に働かれるように待って、聖霊の導きを待って、神様の力を受けるように聖霊の満たしを待つのです。これを置いて切実に祈った初代教会の重職者は、教会の中で大きい力の働きを体験して(使徒 2章)、使徒の働き 3章以後には教会の外で起きる奇跡の働きを見て、使徒の働き 4章では、敵が崩れる唯一性の答えを味わうようになりました。



神様の子どもになる 受け入れの祈り

愛の神様、私は罪人です。イエス様が十字架で死んで、復活されることによって、私のすべての問題を解決して下さったキリストであることを信じます。今、私の心の扉を開いて、イエス様を私の救い主として受け入れます。今、私の心の中に来て下さって、私の主人になって、私を導いてください。これから、神様の子どもになった祝福を味わいながら生きるようにさせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



神様の子どもの中の五つの確信

救いの確信：イエス・キリストを信じて受け入れたあなたは、神様の子どもになって救いを受けました(ローマ 8:15~16、1ヨハネ 5:10~13)

祈り答えの確信：神様の子どもはイエス・キリストのお名前でも何でも求めることができ、神様はみこころ通りに必ず答えてくださいます(ヨハネ 15:7)

導きの確信：神様は聖霊であなたの中におられ、あなたのすべての人生を治めながら導かれます(ヨハネ 14:26~27、箴言 3:5~6)

救しの確信：あなたのすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決され、神様はだれでも罪を悔い改めれば許して下さいます(1ヨハネ 1:9、ローマ 3:24)

勝利の確信：救われたあなたは、世の中に勝たれたイエス・キリストによって、どんな問題の中でも信仰で勝利することができます(ローマ 8:31~37、1ヨハネ 5:4)



神様の子どもの中の毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。

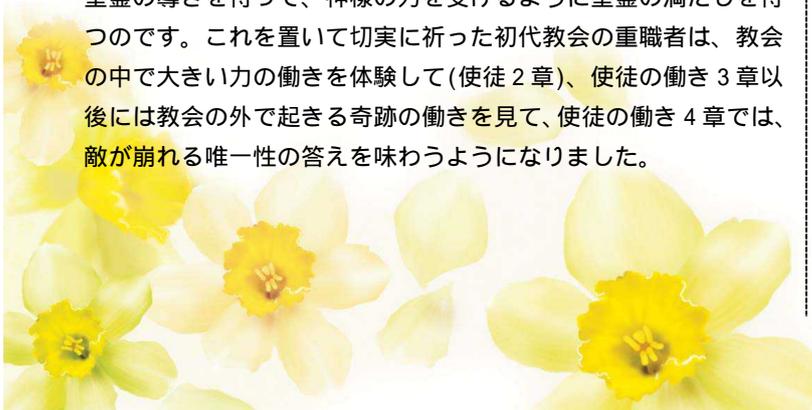
今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。私の家庭と現場と行くところごとに、福音を邪魔して困らせるすべてのサタンの勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。

どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。

私の生活を通して、イエス様がキリストであるということがあかしされるようにして、私の現場に神の国が臨むようにしてください。

毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。

今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを握って待ちなさい

のがしてはいけないリズム 音楽もリズムがあって、運動もやはり適当なリズムの中で行われます。しかし、からだのリズムが壊れれば、即刻、異常な症状が現れるようになります。日常生活をするにあたって、リズムは真に重要な要素です。ここに、あなたがのがしてはいけないリズムがあります。それは、まさに神様のみことばに関することです。神様のみことばが成就して、適用されるためには、必ず3つのリズムを維持しなければなりません。その最初が、神様と私とのリズムが合わなければならないということです。そのリズムがまさに祈りです。祈りのリズムがあれば、みことばが成就しているという事実を知るようになります。しかし、祈りをしなければ、神様のみことばが成就しているのに、わからなくなります。このリズムなしで事業して商売をすれば、結局、困難と大きい問題に直面するようになります。二番目は、人とのリズムです。神様はみことばを人にくださいました。ところで、大部分は話したり考えたりする時、おもに自分の境遇だけで話します。客観性をなくして見るので、相手の悪口を言ったり、激しければ他の人が敵になったりもします。結局、人との関係も、神様のみことばも合わないことを発見するようになります。三番目には、自分に対するリズムです。神様が個人にみことばをくださっても、あまりに規律がなければ、みことばが自分と合うこともなく、これを簡単にのがしてしまうことを発見するようになります。

そろえなければならない基本と根本と力 福音を持った人は、基本と根本を正しく見て、神様の力を体験しなければなりません。ところで、多くの人が基本の中の基本である人間関係から失敗します。教会でも足りない人を待ってあげなければならない理由は2つのことのためです。神様に帰す栄光を考えなければならず、サタンを喜ばしてはならないためです。聖霊の働きと悪霊の働きを知っている人は、いつも言葉と人間関係に注意します。人間関係にあって最も重要な開始は、神様と私との関係であるインマヌエルを味わうことです。私がいる現場で、先に答えを味わって、毎日、答えを捜し出さなければなりません。これがつながって、神様の計画が発見できる時、唯一性の答えという最高の成功の位置に立つようになります。また、霊的な目を開いて根本的な奥義を味わわなければなりません。神様が世界の基が置かれる前に絶対的な主権を持って呼ばれたという事実を確信しなければなりません。キリストを体験する日、暗やみの勢力は崩れ始めて、キリストを持続的に体験する時、伝道の門が開いて弟子が起きるようになります。今でも聖霊は働いて、正確に答えられます。この働きを待って体験しなければなりません。

24 時決断 神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益とさせていただきますと聖書は語っています。それで、私たちは24時間イスラエルの民が血の契約(キリスト)を体験して、現場で奇跡で偶像を倒す神様の力を見上げたように、問題と事件の中で、神様のみことばを握って、生きておられる聖霊の働きを体験しなければなりません。福音は人生のすべての問題を解決する神様の力です。救われた神様の子どもは、すべての呪いから解放されたので、占いをする必要がありません。また悪霊の勢力に勝つ権威も受けました。どんな問題と危機の中でも神様の子どもは全く恐れる必要がありません。問題の中には必ず答えがあって、危機の中には神様の機会があるためです。今日、あなたがこの驚くべき答えと祝福を受けるようになることを主の御名で祝福します。「**主はみことばを送って彼らをやし、その滅びの穴から彼らを助け出された**」(詩 107:20)

説教_柳光洙牧師,整理_チャ・ドンホ牧師

毎日毎日の森の泉

3日(月)

すべての人は、罪を犯したので
(ローマ 3:19~31)

キリストを信じて受け入れた人は、サタンの奴隷ではなく、神様の子どもになる特権を受けました。運命が変わったのです。今は信仰を持って神様が与えられるみことばを握る時、聖霊が働いて、天の御座の祝福を受けるようになります。

4日(火)

伝道弟子(ローマ 16:25~27)

初代教会はキリスト(使徒 1:1)、神の国(使徒 1:3)、聖霊の働き(使徒 1:8)を体験した弟子たちを通して、驚くべき答えを受け始めて、あちこちにこの奥義を体験した弟子を立てました。伝道の祝福を分かれば、私の水準と関係なく、みことばの成就と祈りの答えを見るようになります。そして唯一性の祝福を味わうようになります。

5日(水)

福音を味わうことから学ばなければならない
(箴言 1:7)

何に根をおろすかによって、人生は決定されます。モーセは幼い時、お母さんを通して福音の根をおろして、ダビデは幼い時、すでに神様を見上げる喜びを分かっていました。私たちは、福音の中でみことばを握って、定刻祈り、常時祈り、礼拝祈りの祝福を味わいながら、全てのもを福音の目で見なければなりません。

6日(木)

主の栄光を見る(出 16:1~12)

人生にあって、つぶやく状況と問題は絶えず続きます。不平不満の中に陥って座り込むのか、祈りながら越えるのかは、自分の選択です。神様は永遠まで信徒を守りながら導いてくださいます。その恵みを深く黙想しながら、礼拝を通して神様が与えられる力を得る霊的な祝福をのがしてはいけません。

7日(金)

望みえないときに望みを抱いて信じました
(ローマ 4:17~25)

祈りは霊的な科学です。祈る時、神様が聖霊で働かれて、主の御使いを送ってくださいます。望みえないときに望みを抱いて信じる時、神様の明らかな計画を発見するようになって、確信の中で行動する時、神様の働きが始まります。

8日(土)

三つの専門家(コロサイ 2:3)

キリストの中に知恵と知識のすべての宝がかくされています。伝道の専門家、みことばの専門家、祈りの専門家になる時、伝道の門が見えて、神様のみことばを通して人を生かして、聖霊の導きを受けながら、伝道の図表と神様の祝福を見るようになります。

週間メッセージ

産業宣教 重職者と国内システム(使徒 9:10)

伝道学 | ビジョンを味わうこと-実体化
核心訓練 | 伝道者が覚悟しなければならない誤解(使徒 4:1~12)

聖日1部 偶像を造ってそれに仕えてはならない(出 20:4~6)

聖日2部 すべてのことを働かせて益とされる(ローマ 8:26~30)

モーニング グッド イブニング



イラスト_ユン・スルギ

インターネット時代は、多くの問題を生み出しているけれども、有益も多い。以前には、電話費が怖くて緊急だったり、重要なことでなければ、アメリカに住む人とは電話することは、思いもよらなかったのに、この頃、文明の利器であるインターネットを使えば、お金がかからずに簡単に通話できるようになった。それで、心になつかしいアメリカの友人と朝夕に時には随時通話する。

アメリカは、都市ごとに時間が違うので、どの時間が電話するのによい時間なのか識別しにくくて、また通話する時間もできる時間になって、電話しようという思いになった時にするしかない。それで、電話をかければ挨拶をするようになる。たいてい、私たちの朝はあちらでは夕方や夜になりやすい。そこで、「グッドモーニング!」と言うと、あちらでは「グッドイブニング!」と言う。同じ時間帯に私たちは同じ太陽の下で一日をひっくり返して暮らしているのだ。

創造の時間を、神様は朝になって、夕になったと言われたので、朝が一日の時間で先のような。夜があつてこそ朝がくるのに、神様はアダムを眠らせて、エバを造られたが、夜が去る朝に会うエバの美しさに、グッドモーニング!と呼んだことだろう。

朝、エバに会ったアダムは「グッドモーニング(良い朝)!」と、彼女に「ハワーユ- (こんにちは)」と尋ねたのだ。しかし、その質問には「ハワーユ- (あなたはエバですか)?」という意味もあると思える。その時から、エバという名前が、韓国語では「ハワ」になったという、信じられないような話がある。

とにかく、アメリカの友人に会う時間に挨拶する私に、色違いの名前で一度に挨拶しようと思って、「モーニング、グッド、イブニング!」ということもよいと考えてみる。どうせ、あいさつはしなければならず、アメリカに住む人にあえて韓国語に固執して「アンニョン!」と言わなくてもよいだろうということだ。私たちの朝があなたの夕方、あなたの朝が私たちの夕方であるから、時間を問わず一緒に

良い時間を送ろうという意味だ。

時には時間がよくわからなくて、夜遅くや早朝に電話にする場合もあるが、その方は一度も嫌だというそぶりを見せない。なぜならおしゃべり屋のおばさんたちでもなく、忙しい時間に眠らずにあたたかい便りを伝える事実は、誰でも味わえる機会ではないということ、誰よりもよく分かっているためだ。

ひょっとして、あなたの周辺に、あなたに必ず必要な知識、たとえば、どこでいつ何のセールをするとか、同窓会があるとか、ないとかいう情報を知らせる人がいるならば、ありがたいだろう。しかし、この世どこにも、人類に最も必要な人生の救いの福音を知らせる人に会うことは難しい。それで、人間は問題の中から抜け出せずにいる。

救いの知らせを聞く者の時間が朝ならば、救いの知らせを聞くことができない者の時間は夕方だ。人生の答えを持った者の夕方は、夜が祝福だが、福音の光を持つこともできない者の夜は、苦痛の時間として迫ってくる。私にある時間が朝でも夕方でも、「グッド」という時間を持つとするとするなら、結局「グッドニュース(福音)」を聞いてこそ可能になるのだ。文_チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)

* 相談したい方はこちらまで連絡してください